

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
豊橋市こども発達センター　ゆり組		令和7年　3月　7日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	4	・利用人数や利用児に合わせてマットを追加したりベッドを利用するなどし安全に過ごせるように工夫しています。	・自力移動できる子どもにとってはスペースの狭さを感じて、プレイルームや廊下、別の部屋を使っています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	・子どもの人数に対し、スタッフの人数が少ない時などは応援を頼んで行っています。 ・子どもの人数が少ない時は製作・行事の準備、各自の仕事をしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	・療育に必要なもののみを出し、分かりやすい環境を作っています。 ・療育の活動に合わせて、環境設定を変化させています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	・生活空間が清潔を保てるように、毎日清掃、消毒を行っています。 ・適宜、換気を行い使用後の玩具は適宜消毒しています。	・夏はエアコンのききが悪く不快な時があるため、室温など定期的に計測し、必要に応じて別室に移動することがあります。 ・排水溝から異臭がすることがありますが、適宜相談しテープを張るなど対応しています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	・個別になれる部屋はないが、パーテーションで仕切ったり、廊下に出るなど工夫をしています。	・どの部屋も開いていない場合は移動できる環境がありませんため、事前に予定を立てていないと難しいです。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1	・全関係職員で話し合いをする場を設け、定期的に目標の共有や方向性の確認をしています。	・反省会や会議の中で良い支援が出来るように努力します。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		・頂いた意見をスタッフ全員で共有、参考にし、業務改善を図っていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・職員同士で意見を出す場を設け、積極的に意見交換を行い、適宜業務改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4		・第三者による外部評価は行っていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・外部で行う研修に参加しています。また、外部での研修を内部で伝達講習しています。	・職員が研修に参加しやすいような環境を整えます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	・支援プログラムは教室に張り出しています。また、内容はガイドラインにそって現在変更しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	・年に2回ご家族と懇談を行い、ニーズを確認し、計画を立てています。 ・相談支援員、他施設との情報共有も行っています。	・子どものリアルニーズにも着目出来るようにと考えているため、日々の関わりの中で子ども達のことをしっかり観察して関わっていきたくと考えています。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・職員全体で話し合いの場を設け、内容検討し共有しています。 ・月1回子どもの評価を行っており、目標の確認等含め共通理解できています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・子ども達の個別支援計画を基に反省会や月に1回評価を行っています。 ・話し合いの中で不足している点を反省し、支援に繋げています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	3		・日々の様子は観察していますが、標準化されたツールは使っていません。今後も個々の変化がとらえられるように努力していきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	・5領域の視点を含めた目標、支援内容になるように設定しています。	・今年度より改訂されたガイドラインにそって、それぞれの項目について、より深く調べることが出来ました。そのうえで、すべてを含む内容になるように支援内容が設定されています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	4	・療育の計画は保育士が計画しています。活動に合わせて、活動しやすい姿勢などPTと相談、それぞれの専門性を取り入れています。	・保育士中心で行っていますが、日々の反省の中で他職種の意見も取り入れながら、療育の内容を検討していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	・季節や週で変化させています。 ・同じ内容でも個々で方法が違う場合や積み重ねたい内容の場合はあえて同じプログラムを固定しているときもあります。	

関係機関や保護者との連携	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・集団生活の中でも個別性を意識して、一人一人に合わせた療育への参加の仕方を考えています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・朝のミーティングで午前・午後の療育、食事介助の担当を確認しています。 ・子どもへの関わりは日々の体調や様子に合わせて職員間で相談しながら、関わり方や療育内容を変更しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	6		・職員の勤務時間が違うため、毎日の反省会は難しいが、必要な内容は出来る範囲で記録し、共有しています。 ・月2回の反省会で職員で全体で共有しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・毎日の様子を支援計画の目標にそって姿勢や体の使い方、気持ちの表出など具体的に記載しています。 ・反省会や会議の中で記録を確認しながら、支援の見直し等を行っています。	・今後もより良い支援が出来るように努力していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	・月に1回職員間でモニタリングを実施し、半年に1回保護者と一緒にモニタリングを行っています。その中で支援の見直し等を行っています。	・日々の送迎時にも様子等お伝えしていますが、モニタリングの時以外でも気になることがあれば早めに相談していけるように努めます。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	・担当の児童発達支援管理責任者が参画しています。参画出来ない場合は電話等で情報をお伝えしています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2	・施設内の他部門の関係スタッフ、子ども保健課、保育課など必要時に連携をとっています。 ・教育現場とは特に移行時に連携しています。	・今後も必要に応じて積極的に連携できるように努めます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	3	・養護学校と併行している児がいるため、保護者から聞き取りを行っています。 ・併行先の事業所とは必要に応じて情報共有をしています。	・地域の保育園に入園を断われ、入園となった児もいるため、障害があってもなくても平等に関わってもらえる地域になるように市の保育園等と特に連携する方法を検討します。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	・年度当初に情報交換会を行い、情報共有を行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	3	3	・無回答1 ・地域の児童発達支援センターと併行利用している児もいるため、連携をとりながら支援しています。	・豊橋近隣の市町村の施設と情報共有の出来ないことが課題と感じています。 ・今後、療育の質の向上を目指した研修も検討していきます。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	6	・無回答1 ・現在は行っていません。	・今後、交流できる場がないか検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1	・無回答1 ・送迎時などで子どもの家庭での様子や事業所の様子について伝え合うようにしています。	・送迎時にご家族の日々感じていることを拾いあげることが難しいが、より丁寧に声掛けしたり、保護者とお話できる時間を作るように努めます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	7	・家族支援プログラムとしてやり組講座を例年おこなっていましたが、今年度は併用児が多いことから実施していません。	・来年度は保護者が知りたい内容の講座を出来るように現在検討中です。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・無回答1 ・事務の担当者が契約時に説明しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・個人懇談を行い、保護者のニーズを確認し、その中で具体的な目標など相談しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	・なるべく分かりやすい言葉で具体的に事例を伝えながら説明しています。	

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1	・どちらでもない1 ・保護者との面談は年2回しかないが、送迎時になるべく話をするようにしており、その都度相談されたことに対して可能な範囲で対応しています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	7	・父母の会はありません。	・以前はより組講座や行事を通して保護者同士の交流を図っていました。来年度は保護者同士の交流の場を増やすために講座等を検討しています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・家族の事情で登園日でない日も希望があれば、可能な日は受け入れをしています。 ・体制について必要な場合には他部門にも相談をもちかけ、クラスだけでなく全体で考えるようにしています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・より組たよりを年2回発行しています。 ・LINEを利用し、毎月の行事予定、療育中の様子を月1回写真を送っています。 ・部屋に月案を掲示しており、毎日行う内容の周知をしています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・毎年、利用契約における個人情報使用同意書に署名をして頂き、個人情報を適切に取り扱うよう注意しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7	・令和5年度よりパーソナルラボさんの畑に招待され、野菜の成長を観察したり、収穫体験を行うようになりました。 ・野菜の収穫の際にハートケアファームの高齢者の方と交流しました。	・今後、地域との交流をどのようにできるか検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1		・各種マニュアルは策定していますが、保護者への周知は不足しているため、より周知出来るよう検討します。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	・月1回の避難訓練や災害を想定し非常食を食べる機会等設けています。 ・他部門にも声をかけ、避難訓練を想定し行う場合もあります。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	・利用開始時に主治医の情報提供書から状況を確認するとともに、内服の変更時には処方箋のコピーを提出もらい確認しています。 ・発作時の対応は保護者に確認し、職員間で情報共有しています。	・予防接種の細かい接種状況を今後聞き取り出来るように様式を見直します。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	・医師からの指示書はありませんが、保護者からアレルギーについて聞き取り、情報共有をしています。 ・アレルギー食の対応は出来ないため、お弁当を持参してもらっています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	・安全計画を策定しています。散歩コースで交通量が増えた時などは散歩道等再度見直し変更もしています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	3	・非常食を9食分用意してもらっています。	・今後は保護者へ周知できるように検討していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・クラス内で把握し、園長に報告しています。また、内容によっては施設全体に周知しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・適宜研修に参加し、内部で職員研修を実施しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	4	・身体拘束はしていません。 ・身体拘束適正化のための職員研修はおこなっています。	